

各位

三菱UFJ信託銀行株式会社

### 電子ギフト贈呈によるネット行使促進サービスの取扱開始について

三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長：長島 巖<sup>ながしま いわお</sup>、以下 三菱UFJ信託銀行）は株式会社ギフトパッド（代表取締役：園田 幸央<sup>そのだ ゆきひろ</sup>）、以下 ギフトパッド社）と提携し、株主総会においてインターネットにより議決権行使した株主に電子ギフトを贈呈するサービスの取扱を開始いたします。

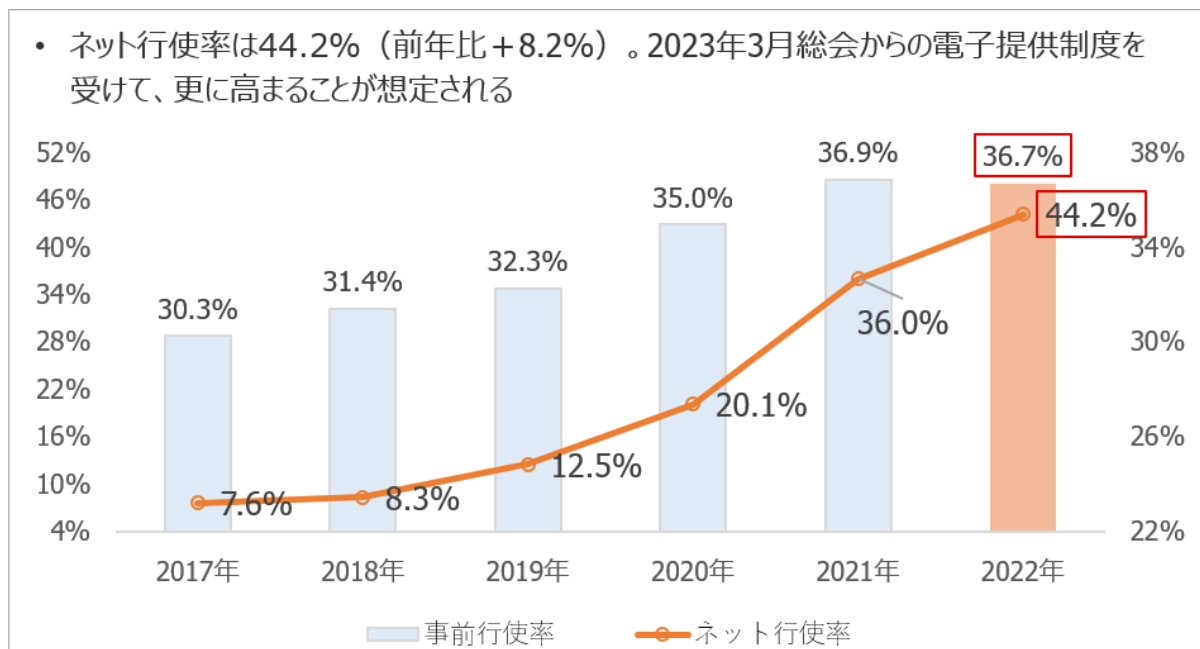
なお、本サービスの第一号案件として、本年3月24日に実施する株式会社ユーグレナ様の株主総会での導入が内定しております。

#### ■本サービスの狙いと背景

本年3月開催の株主総会から、株主総会資料を自社のホームページ等のウェブサイトに掲載し、株主に対して当該ウェブサイトのアドレス等を書面により通知する電子提供制度が開始され、株主総会のデジタルトランスフォーメーション（以下 DX）が進捗し始めております。

インターネットによる株主の議決権行使比率は年々上昇傾向ながら、書面行使も依然として過半近くが残っており、欧米と比較しても DX 促進の点において課題が存在していると認識しています。

#### 【インターネットによる議決権行使率の推移】



\*インターネット行使率：弊社ご委託会社のネット行使採用における、ネット行使者数/事前行使者数の割合で算出  
 （出典：毎年6月総会の弊社ご委託会社のデータを基に弊社で作成）

上記課題に対し、電子ギフト提供会社であるギフトパッド社と提携し、株主総会 DX の促進策の一つとして、本サービスの提供を開始します。なお、株式名義管理人である信託銀行が議決権行使に応じて電子ギフトを提供するのは、本邦では初めての試みであります。

## <インターネット行使の意義・目的>

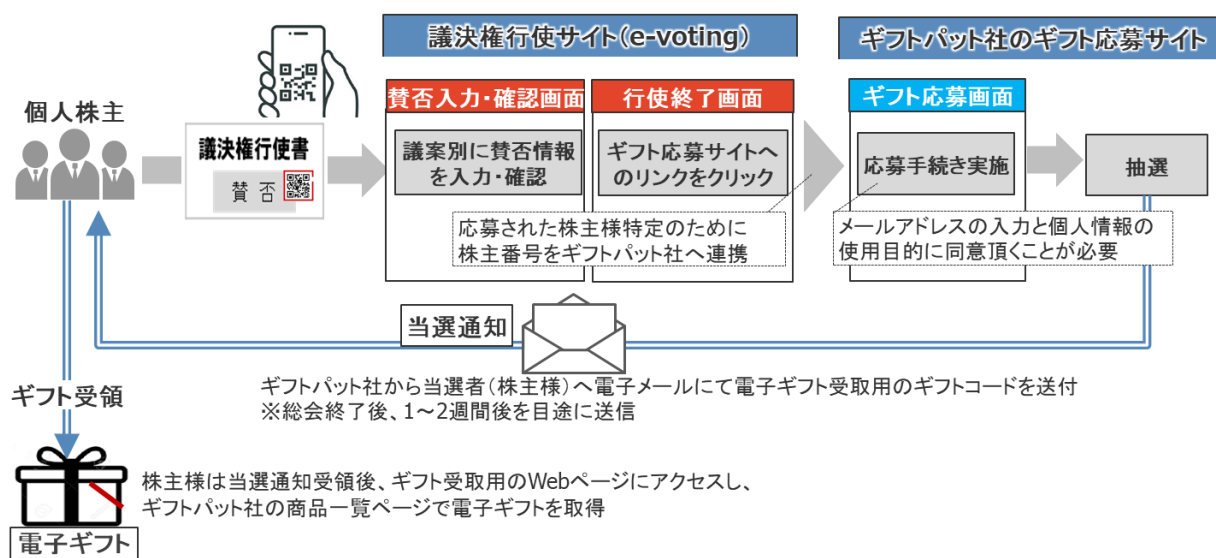
- ①地理的要因に左右されずに、より多くの株主に議決権を行使してもらうため
- ②発行会社（株式を発行する企業）にとって、議決権行使書の郵送コストを削減するため
- ③社会にとって、議決権行使書の輸送量削減を通じて環境負荷を軽減し、カーボンニュートラルに向けた取り組みを進めるため

## ■本サービスの概要

本サービスは三菱UFJ信託銀行のインターネット議決権行使サイト（e-voting）から、ギフトパッド社のギフト応募画面に遷移し、株主目線でシームレスに応募が可能になるサービスです。

従来でも議決権行使した株主様へクオカード等を郵送するスキームはありましたが、本サービスは現物を廃止し、電子ギフトへ移行することで企業側・株主側の負担を軽減するサービスとなっております。

## <スキーム図>



今後、三菱UFJ信託銀行は株主名簿管理人として、本サービス以外にも、株主総会のDXに向けた取り組みを実現し、企業と株主の適切な関係支援を行ってまいります。

## <株式会社ギフトパッド>

所在地：

<本社> 大阪府大阪市西区南堀江 3-9-13 堀江家具 WEST ビルディング 4F

<東京オフィス> 東京都中央区日本橋 3-2-9 三晶ビル 5F

代表取締役：園田 幸央

資本金：100 百万円（2022 年 11 月末現在）

設立：2011 年 12 月

URL：<https://giftpad.co.jp/>